

1. 能動的学習や主体的な学び、授業の質の向上、ICT機器の活用について

- * 環境整備が御校の課題の一つであった。これが整ったことは評価に値する。ソフト面はこれからであろう。率先先行の教科もあるようなので、今後とも、積極的な活用と実施、更には検証と共有が大切になる。何が効率のよい学びに繋がるのか、手探りであっても休まない事が重要。
- * 御校で導入されているスタディサプリ動画媒体の活用、オリジナル動画配信などと連動させ、Chromebookを活用した「反転学習」は継続して実施すべきである。
- * 他校では、「生徒からの支持の高い授業」を撮影し他の教員で共有する試みがなされている。広く深い学びに繋がる実践や発信力を高める工夫などを通じて、先生方の実践・検証・共有を繰り返しながら授業改善に生かせるようにすることが肝心である。また、生徒にとってどの先生に習っても質の高い授業となるよう共有することは大切である。更に、能動的学習に繋がる「授業での仕掛け」や「課題の工夫」等は常に模索実践する必要がある。
- * 家庭学習とのリンクを考えるのも一つの方法かもしれない。そのその方が、反復学習に繋がり確実に理解することが出来よう。他校では、アーカイブとして保存されており、反復学習に役立てていた。
- * 探究活動は、深い学びに繋がる。御校は獨協コースで実践済みなので、ノウハウもあろう。今後は、日常の教科学習・学校行事などを通じて、「探究活動の意義」を共有してもらいたい。「今学んでいることが何にどのように役立ち、どう使えるか」が生徒なりに理解できると、意欲も沸き主体的な学習へとつながるものと思われる。
- * 中学校とのリンク(ジョイント)が今後のテーマになると思われる。獨協埼玉に通っていれば、「とことん追求できる」や「好きなことが見つかる・探せる」となると面白い。数十年後を見据えた取り組みとして素晴らしい教育実践校として広まるであろう。

2. 登下校時の安全対策とマナー向上について

- * 登下校や公共交通機関におけるマナー向上については、先生が見張りをして解決する問題ではないと思われる。中学でも述べたが、「何故問題になるのか」を1つのテーマにして共有する必要性は高校生でも重要である。
- * おそらく、問題行動を起こす生徒は小数であると考えられる。近所の方や公共機関利用者の周囲から注意されてしらばくれるなら、現場を押さえるのが一番。しかし難しい。まん延するのを防ぐしかない。少数派のまま如何に抑えるかが重要であると思われる。
- * 昨年からのコロナ禍の影響で我慢を強いられていることが増えた。結果、周囲の行動や環境に対して神経質になっているのではないか。解決策の一つとしては、近隣住民や自治会とコミュニケーションをとることが挙げられる。ご近所に味方が居ると心強い。
- * 高校生であっても、時間効率のよい学校生活より、友人との他愛もない時間は重要で、「心のゆとり」にも繋がると思う。「無駄な時間」であっても、生徒たちの成長には貴重であると考えられる。